

モニタリング調査結果

種名： ヤマエンゴサク

調査者： 特定非営利活動法人境川の斜面緑地を守る会

調査地： 橋本

調査期間	気づいたこと
2018年3月 ~ 2018年4月	開花茎は3本。ここ数年徐々に勢力が衰え、個体数も減少し、株も小さくなっている。ササ刈りをして経過を観察する。
2019年3月 ~ 2019年4月	開花茎数は1本。個体数はさらに減少してついに1株となり種子も結実しなかった。要注意の状態だ。
2020年3月 ~ 2020年4月	最後の1株に開花茎1本を確認。しかし今年はこの開花茎に5個の果実が結実しており、来年に期待したい。この間周囲で近似種のジロボウエンゴサクが急増しており、開葉期・花期ともに長く大量の種子を生産・散布するジロボウエンゴサクに圧迫されているように思われる。